



ラオス人民民主共和国

ラオスの教育制度(1)

- 面積:24万平方キロメートル(九州の約0.8倍)
- 人口:733.8万人(ラオス統計局, 2021年)
- 民族:ラオ族(全人口の約半数以上)を含む計50民族
- 言語:ラオス語
- 宗教:仏教
- 平均寿命:男性67歳、女性71歳(世界銀行, 2020年)
- 成人識字率:87%(世界銀行, 2021年)

ラオスにつながる本邦在留者は、永住者(47%)、定住者(8%)、日本人の配偶者(5%)が全体の60%を占める(総務省統計局, 2022年6月)。日本に比較的長く滞在するケースが多いことを踏まえ、中長期的な視野を持って、子どもを指導することが期待される。

学校体系と取得可能な資格・学位

- ラオスにおける初等教育5年間の義務化・無償化は、1991年に制定された憲法19条に基づき発令された1996年の首相令で規定された(外務省, 2008年)。
- 2000年に教育法成立、2007年の改正を経て、2015年、現行教育法が公布された。同法により、前期中等教育がそれまでの3年から4年に延長されるとともに、義務教育となった。現在、ラオスの義務教育期間は9年間である。
- しかし、退学と留年が多く、2021年の純就学率は、初等教育92.35%、前期中等教育67.65%、後期中等教育49.64%であり、義務教育である前期中等教育の就学率も低いレベルに留まっている(UIS, 2022年)。

幼稚園

義務教育	初等学校 (小学校)	1年生 (6~7歳)
		2年生 (7~8歳)
		3年生 (8~9歳)
		4年生 (9~10歳)
		5年生 (10~11歳)
	下級中等学校 (中学校)	6年生 (11~12歳)
		7年生 (12~13歳)
		8年生 (13~14歳)
		9年生 (14~15歳)

上級中等学校(高等学校)10~12年生

大学、教員養成カレッジ、技術学校



ラオスの学年歴は9月から翌年6月までである。

★初等教育修了証

- ★前期中等教育修了証
- ★後期中等教育修了証
- ★準学士、★学士
- ★修士、★博士

就学手続き・学校区域指定の有無

- 2015年教育法により、初等教育と下級中等教育は義務教育と位置づけられ、「全ての国民が学ばなければならない」とされている。
- 2000年・2007年教育法では、社会・コミュニティとともに保護者も子どもが義務教育を修了することを保障するとの記載があったが、2015年教育法では、保護者の役割には触れられていない。
- 学校区域指定はなく、義務教育段階の公立学校でも居住地近くの学校を中心に自由に通学する学校を選ぶことができる。就学手続きは必要書類を学校に提出する。幼稚園に通園していた場合はその証明書も提出する。

学校教育費

- 義務教育は無償である。
- 教科書は原則、無償で配布されるが、特に農村部に教科書が十分に行き渡っていない地域があり、複数の児童生徒で教科書を共有している場合もある。
- 保護者は学用品等の費用を負担する必要がある。また、施設修繕費の負担を求められる場合がある。

進学要件

- 下級中等学校:初等教育修了証
- 上級中等学校:前期中等教育修了証
- 高等教育機関:後期中等教育修了証。修了証取得時の成績によって授業料負担や選抜試験の有無が決定される。技術学校の場合は、職業教育修了証の取得者にも入学資格が認められる(文部科学省, 2017)。



ラオスの就学率が低いレベルに留まる理由は、ラオス語を生活言語としない少数民族がラオス語で授業を受けることや、約23%の小学校が5年生まで開講されていない不完全校であることなどに起因すると考えられている。



例えば、ラオス国立大学への入学には、地域別選抜と入学試験選抜の二種類がある。地域別選抜は、教育の不平等の解消のため、地域別に入学定員が割り当てられている。入学試験選抜は、入学試験の成績により入学の可否が決まる(山口, 2010年)。

ラオスの教育制度(2)

障害のある子どもの就学

※「特別支援教育」や「特別教室」の定義は、国により様々である。

ラオスでは、障害は仏教の概念であるカルマを前世で抱えたためであるとの考え方もあり、障害者は家庭に閉じ込められることも多く、障害のある子どもの教育の普及は遅れている。

1992年、視覚・聴覚障害のある子ども向けの学校が首都ビエンチャンに設立された。その後、ラオス政府は、2003年に障害者の権利に関する規定を制定し、2009年に国連障害者権利条約を批准した。「2009-15年国家教育制度改革戦略」では、インクルーシブ教育の推進に必要な機器の導入に加えて、重度障害のある子ども向けの学校の設立も言及された。

「2011-15年インクルーシブ教育に関する国家行動戦略計画」において、少数民族や障害のある子どもを含むインクルーシブ教育の推進が掲げられ、2011年に策定された「国家インクルーシブ教育政策」に基づき、通常学校におけるインクルーシブ教育が進められている。職業訓練を重視した障害のある子どものための職業訓練校も設立された。

ただし、その後策定された「2016-20年教育セクター開発計画」には、不就学児を含め障害のある子どもの状況が不明であるため、障害のある子どもの実態把握の必要性が指摘されている。

● 就学手続き

- 1) 障害のある子ども向けの教育を希望する場合、原則として医師の診断を受ける。0～18歳の障害児の診断は医療リハビリテーションセンターが実施する。
- 2) 診断内容に応じて、障害のある子ども向けの教室がある通常学校、もしくは特別支援学校に入学を申し込む。

● 障害のある子どもの教育の場

インクルーシブ教育学校 409校(2016年)
特別支援学校(保健省管轄) 3校(2016年)



指導上の留意点

- 比較的新しい概念である、自閉症やADHDなどを含む「発達障害」について、保護者は十分理解していない、または障害と認識していない場合がある。
- 来日前の教育の状況、家庭環境や成育歴、母語の発達の状況などが子どもの発達に影響を及ぼしていることに留意が必要である。

ラオスの教育内容(1)

- 初等教育のカリキュラムは、オーストラリア政府などの支援を受けて、2019年以降順次改訂されている。2022年9月時点で小学校1年生から4年生までのカリキュラムが改訂され、新しい教科書が配布された。並行して、JICAは算数の教科書等の開発を支援している。
- 改訂された初等教育のカリキュラムでは、アクティブラーニングが推進されている。

教科(小学校・中学校)

- 小学校では、国語(ラオス語)、算数、理科と環境、道徳、芸術と手工芸、音楽、体育、英語(3年生から)、社会(4年生から)などを学ぶ。
- 中学校では、国語(ラオス語)、算数、理科(物理、化学、生物)、社会(地理、歴史)、ラオス学、外国語、情報通信技術(ICT)などを学ぶ。
- 外国語は、小学校3年生から週2時間学習する。中学校では、第一外国語(英語あるいはフランス語)を週3時間、第二外国語(第一外国語が英語の場合、フランス語、日本語、中国語、ベトナム語より選択)を週1～2時間学習する。しかし、教員不足等の問題で、特に地方においては第二外国語をカリキュラムどおりに行うことが困難な場合がある。
- 課外活動の時間は、ラオスの重要な歴史的・文化的な日を祝う行事、芸術コンテスト、スポーツ活動への参加、教室や校内の掃除などに充てられる。授業時間の20%を課外活動や非主要教科に充てることが奨励されている。

評価・進級制度

- 出席日数や成績などが進級の基準に達しないと小学生でも留年となる。
- 進級に必要な学習成果が得られなかった児童生徒に対して、学期中または学期と学期の間の休業期間に補習が実施される。
- 成績表には、各教科の成績、出席状況、児童生徒の行動・態度等が記載されている。



- 初等教育の2014年の留年率は6.9%。小学1年生の留年率が最も高い(15.3%)。初等教育の中退率は5.5%(世界銀行、2014年)。
- 初等教育最終学年の残存率(※)は82%(世界銀行、2019年)。

(※)初等教育の最初の学年に入学した子どものうち、最終学年に到達した子どもの割合。

修了率(※):初等教育83%、前期中等教育54%、後期中等教育31%(2017年)

(※)各教育段階の最終学年該当年齢より3～5歳年齢が高い子どものうち、最終学年を修了した子どもの数の割合(データは、UNICEF、2022年)。

ラオスの教育内容(2):算数カリキュラム

初等算数教育の学習内容系統一覧表(日本の学習領域に則り整理)

領域/学年	1年	2年	3年	4年	5年
数と計算	●100までの数	●1000までの数	●1万までの数	●10億までの数 ●四捨五入 ●奇数と偶数、倍数と約数	●十進法
	●1、2位数の加法・減法 ●加法の交換法則	●2、3位数の加法・減法 ●加法の結合法則 ●乗法の意味 ●九九(1~9の段) ●乗法の交換法則	●3、4位数の加法・減法 ●乗法(2、3位数)×(2位数) ●除法の意味、余りのある除法 ●除法(1~4位数)÷(1位数) ●乗法の分配法則と結合法則	●5~8位数の加法・減法 ●除法(2~4位数)÷(2、3位数) ●四則の混合した式の計算 ●乗法と除法の関係 ●除法の分配法則	●分数の乗法・除法 ●小数の乗法・除法 ●分数、小数、整数の混合した乗法・除法
図形	●基本的な平面図形 ●基本的な立体図形	●三角形と四角形 ●直角 ●直角三角形、長方形、正方形	●円 ●二等辺三角形と正三角形 ●平面図形の角 ●球	●垂直と平行 ●台形、平行四辺形、ひし形 ●平面図形の合同 ●三角形と四角形の内角の和 ●面と辺の関係(垂直・平行) ●立方体・直方体と展開図	●正多角形の性質 ●平面図形の拡大・縮小 ●線対称と点対称 ●円柱、角柱、円すい、角すい
	●長さの比較(直接・間接比較、任意単位) ●面積の比較(直接比較、任意単位) ●かさの比較(直接・間接比較、任意単位)	●長さの単位(cm、mm、m) ●かさの単位(L、mL、dL)	●長さの単位(km) ●重さの概念 ●重さの単位(g、kg、mg、t)	●三角形と四角形の周囲の長さ ●面積の単位(cm^2 、 m^2 、 km^2 、a、ha) ●長方形と正方形の面積の公式 ●角の大きささと角度の測定	●距離、長さ、時間の計算 ●円周率(π)と円周、円の面積の公式 ●四角形と三角形の面積の公式 ●体積の単位(cm^3 、 m^3) ●立方体と直方体の体積の公式
測定/変化と関係	●時計の読み方(時、○時半)	●時計の読み方(時・分) ●経過時間(時・分) ●カレンダー(週・月・年)	●時間の加法・減法 ●時間の測定(秒)	●ともなって変わる2つの数量 ●比例	●割合、百分率(%), 比 ●比例と反比例
データの活用		●表、絵グラフ	●棒グラフ	●折れ線グラフ	●円グラフ



数と計算領域を指導する際の留意点

●各学年で学習する整数

ラオスの各学年で学習する整数は、日本よりも小さい。例えば、日本の3年生は1億まで学習するのにに対し、ラオスの3年生は1万までしか学習しない。そのため、日本において、整数を学習する前に補助的な指導が必要となる場合がある。例えば、3年生までラオスで学習し、4年生から日本で学習する子どもには、整数の学習の前に1万~1億までの数を指導する必要がある。

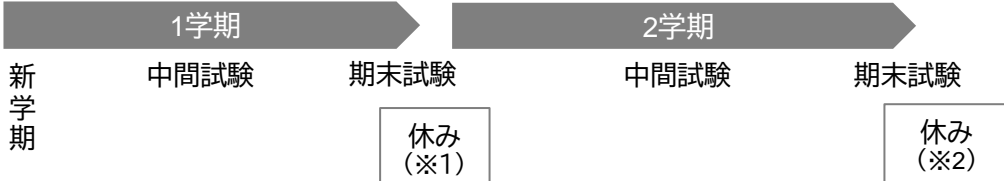
●分数の学習時期

日本では基本的な分数の意味(分割分数)を2年生で学習するが、ラオスでは3年生から分数を学習し、4年生までに異分母の分数の加法・減法を学習する。そのため、2年生までラオスで学習し、3年生から日本で学習する子どもは、分数の意味を学習していないため、3年生の分数の学習に入る前に十分に指導する必要がある。また、5年生から日本で学習する子どもには、分数の計算や通分・約分などについて十分に補習を行う必要が予想される。

ラオスの学校文化

1年間の学校行事

9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月



- (※1) 1月中旬にある期末試験の後に約1週間の休業期間がある。
- (※2) 7月の学年末試験の後に長期休業期間がある。

1日の流れ

- 授業があるのは月曜日から金曜日であり、土・日・祝日は休みである。
- 午前中に45分授業が4コマ、午後1時半から3コマの授業がある。

小学校の例

8:00 ※8時前には登校
午前の授業開始

ラオスでは、グループになり徒歩通学することが多いが、自転車で通学する地域や、保護者が学校まで送る地域もある。

11:30 午前の授業終了
昼休み

月曜日の朝8:00～8:30と、金曜日の授業後16:00～16:30に全校集会があり、国旗掲揚と国歌斉唱を行い、学校長の訓示を受ける。火曜日から木曜日は、8:00に授業が始まる。

13:30 午後の授業開始

昼食は自宅に戻って食べる人が多いが、地域によっては昼食を学校に持ってくることもある。

16:30 午後の授業終了

学期中は日常的に宿題が出されるが、長期休業期間に宿題はない。

学校のルール・習慣

- 教室等の掃除は当番制で児童生徒が行う。
- 小学校から制服を着用する。
- 学校での化粧やアクセサリ、携帯電話の持ち込みは禁止されている。
- お菓子を学校に持参することは許されている。

学校生活に必要なもの

- 教科書は基本的に無償配布とされているが、特に農村部では教科書の配布が十分に行き渡っていない地域もある。
- 制服や文房具は保護者が購入する。

勉強以外の活動

- 運動会や文化イベントなどの行事はあるが、遠足や修学旅行はほとんど行われていない。中学校では修学旅行を実施している学校がまれにある。

保護者の関わり

- 各学期末に保護者面談がある。
- 家庭訪問は一律には行われていないが、問題を抱えている児童生徒がいれば、家庭を訪問する場合がある。
- 子どもの宿題を確認したり教えたりする保護者もいるが、子どもの家庭学習を十分に支援できない家庭もある。
- ラオスにもPTAがあり、定例会の開催等が行われているが、実際には活発な活動は行われていない学校もある。



指導上の留意点

- ラオスでは、都市部に比べて山岳地域や南部地域の一部で入学率や進学率が低く、地域間の教育格差がある。ラオス出身であっても子どもの学習レベルは様々であることに留意が必要である。
- ラオスでは、長期休業期間に宿題は出されないため、夏休みや冬休みの宿題について丁寧な説明が必要な場合がある。

参考文献

- 外務省. ラオス人民民主共和国(Lao People's Democratic Republic) 基礎データ. (オンライン) 2023年2月3日. (引用日: 2023年2月15日.) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/laos/data.html>.
- The World Bank. World Development Indicators. Data Bank. (オンライン) 2022年12月22日. (引用日: 2023年2月15日.) <https://databank.worldbank.org/reports.aspx?source=2&country=LAO>.

(学校制度)

- 石黒馨. ラオスの初等教育問題と日本の国際協力. アゴラ(天理大学地域文化研究センター紀要) No.13. (オンライン) 2016年. (引用日: 2023年1月17日.) <https://opac.tenri-u.ac.jp/opac/repository/metadata/3848/AGR001306.pdf>.
- 外務省. ラオス教育分野の評価報告書(オンライン)2009年3月(引用日: 2023年2月28日.) https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hyouka/kunibetu/gai/laos/sect08_01_index.html.
- 公益財団法人国際センター. ラオス. (オンライン) (引用日: 2023年1月17日.) <https://www.minsai.org/countries/laos/>.
- 総務省統計局. e-Stat 政府統計の総合窓口. 在留外国人統計(旧登録外国人統計). (オンライン) 2022年6月. (引用日: 2023年1月13日.) <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00250012&tstat=000001018034>.
- 独立行政法人国際協力機構(JICA). 国別障害関連情報 ラオス人民民主共和国. (オンライン) 2021年2月. (引用日: 2023年3月20日.) <https://libopac.jica.go.jp/images/report/1000044775.pdf>
- 文部科学省. ラオス人民民主共和国. 世界の学校体系(アジア). (オンライン) 2017年. (引用日: 2023年1月17日.) https://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2017/10/02/1396848_019.pdf.
- 山口しのぶ. 第4節ラオス人民民主共和国. ACTS(ASEAN Credit Transfer System)と各国の単位互換に関する調査研究. (オンライン).2010年.(引用日: 2023年2月28日.) <https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00030347>.
- UNESCO IBE. Lao people's Democratic Republic. World Data on Education. 7th edition, 2010/11. (オンライン) 2011年7月. (引用日: 2023年1月17日.) http://www.ibe.unesco.org/sites/default/files/Lao_PDR.pdf.
- UNESCO Institute for Statistics (UIS). UIS. Stat. (オンライン) 2022年. (引用日: 2023年1月19日.) <http://data.uis.unesco.org/>.
- UNESCO. Profiles Enhancing Education Reviews (PEER) . Lao People's Democratic Republic, INCLUSION. (オンライン) 2021年7月28日. (引用日: 2023年1月17日.) <https://education-profiles.org/eastern-and-south-eastern-asia/lao-peoples-democratic-republic/~inclusion>.

(教育内容・学校文化)

- 外務省. ラオスの学校では今. (オンライン) (引用日: 2023年1月6日.) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/kuni/0407laos.html>.
- 外務省. ラオスの教育セクターの概況. (オンライン) (引用日: 2023年1月9日.) https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hyouka/kunibetu/gai/laos/pdfs/sect08_03.pdf.
- 国際交流基金. 日本語教育 国・地域別情報 ラオス(2020年). (オンライン) (引用日: 2023年1月15日.) <https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2020/laos.html>.
- 公益財団法人教科書研究センター. ラオス人民民主共和国. (オンライン) (引用日: 2023年2月28日.) <https://textbook-rc.or.jp/wp-content/uploads/2022/11/4278fd915e456a71557e1ffa455a52f3.pdf>.

(教育内容・学校文化 つづき)

- 公益財団法人国際センター. ラオスってどんな国. (オンライン) (引用日: 2022年12月26日.) <https://www.minsai.org/countries/laos/>.
- 独立行政法人国際協力機構(JICA). 日本式の新しい教科書を使って学ぶラオスの子どもたちーコロナ禍でも学びをとめない政府と現場の取り組みー. (オンライン) (引用日: 2023年2月28日.) https://www.jica.go.jp/activities/issues/education/corona/pick_up/202106_02.html.
- ASEM Education. Lao People's Democratic Republic. (オンライン) (引用日: 2023年1月9日.) <https://asem-education.org/compendiums/204-lao/>.
- BEQUAL (Basic Education Quality and Access in Lao PDR). New primary curriculum to be rolled out starting in September 2019. (オンライン) (引用日: 2022年12月26日.) <https://www.bequal-laos.org/new-primary-curriculum-to-be-rolled-out-starting-in-september-2019/>.
- BEQUAL. Ministry of Education and Sports and Australia celebrate the start of the nationwide teaching of the new grade 4 curriculum and recognize the key role of teachers in the success of the new curriculum in Laos. (オンライン) (引用日: 2023年1月9日.) <https://www.bequal-laos.org/ministry-of-education-and-sports-and-australia-celebrate-the-start-of-the-nationwide-teaching-of-the-new-grade-4-curriculum-and-recognize-the-key-role-of-teachers-in-the-success-of-the-new-curriculum/>.
- BEQUAL. Minister of Education and Sports and Australian Ambassador observe the orientation training for Grade 3 teachers on the new improved primary curriculum. (オンライン) (引用日: 2023年1月9日.) <https://www.bequal-laos.org/minister-of-education-and-sports-and-australian-ambassador-observe-the-orientation-training-for-grade-3-teachers-on-the-new-improved-primary-curriculum/>.
- Ministry of Education and Sports. UNESCO. EDUCATION AND SPORTS DEVELOPMENT PLAN 2021-2025. (オンライン) 2020年. (引用日: 2023年1月24日.) <https://planipolis.iiep.unesco.org/en/2020/education-and-sports-sector-development-plan-2021-2025-7023>.
- Ministry of Education and Sports and UNICEF. Student Learning Outcomes in Primary Education in Lao PDR. (オンライン) 2015年. (引用日: 2023年1月23日.) <https://www.unicef.org/laos/media/331/file>.
- Southeast Asia Globe. In Laos, schools tackle much-needed education change amid virus outbreak. (オンライン) 2021年5月. (引用日: 2022年12月26日.) <https://southeastasiaglobe.com/laos-education-covid/>.
- The World Bank. Persistence to last grade of primary, total (% of cohort). (オンライン) (引用日: 2023年1月6日.) <https://data.worldbank.org/indicator/SE.PRM.PRSL.ZS?locations=LA>.
- UNESCO. Lao People's Democratic Republic Education for All 2015 National Review. (オンライン) 2014年. (引用日: 2022年12月25日.) <https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000231489>.
- UNICEF Data. UNICEF Global database on completion rate. (オンライン) 2022年5月 (引用日: 2023年3月16日.) <https://data.unicef.org/topic/education/primary-education/>
- Vientiane Times Lao Press in Foreign Languages. Education curriculum adapted to changing situation. (オンライン) 2021年9月 (引用日: 2022年12月26日.) https://www.vientianetimes.org.la/freeContent/FreeContent_Education_185.php.

(算数カリキュラム)

- JICA提供資料

質問紙調査

- ラオス教育スポーツ省 職員1名への質問紙回答(2023年1月26日).

※ 為替レート: 2023年3月JICAレートにて換算(LAK1=0.0081600円), 百の位で四捨五入(500円以下の場合は十の位で四捨五入).